



2 POSITION FIRING SYSTEM JFF0601
CODE/コード: 送/受信器に付いている同番号をペアで使用

受信機のアンテナ基底部横のSWをO(off)の位置にしておく
 電池取付:
 受信機/9V角型アルカリ電池
 送信機/12Vアルカリ電池
 受信機: TEST側にスライドさせておく
 送信機: カバーした状態にしておく
 受信機電源:
 アンテナ基底部の横に電源SWあり
 O/I => I側を押す
 イグナイタ用リード線の接続:(添付されません)
 Channel 1 または 2 または両方
 上 => Ch1 下 => Ch2 へ繋ぐ
 導通TEST:
 イグナイタに繋ぐと導通状態が表示される
 TEST for 2 or 両方のLEDがON

エステス製イグナイタで点火しました
 元々はより点火しやすい点火具用に
 出来ています

<= Channel 1 送信機: Aボタン

<= Channel 2 送信機: Bボタン

FIRE準備:
 FIREへスライドSWを右にすべらせて切替
 ONのLEDが点灯(ON)
 (導通TESTが終了していても、FIREの位置にすれば
 FIRE ONになり、点火準備になるのでご注意ください)
 fire-onにしてledが点滅する場合low-batteryで、要電池交換

送信機:
 スライドカバーを下げて開ける
 Aを押し CH 1 を点火
 Bを押し CH 2 を点火
中央の電池を含め右の3つのLEDが点灯して 点火/発射
 中央(電池)とその右の2つLEDが消灯して 終了
 CH1のイグナイタを繋ぎBボタンを押しても点火しません(CH2とAも同じ)
 (右から2つ目のLEDがONになる) △ 受信表示(非点火)

<= 送信機:
 カバーを開けた状態
 電池は裏カバーの3つ木ネジを外し
 交換(12v単5型)

電池は高容量が望ましいですが
 あまり高容量で長押しすると、回路
 を痛める危険性があります
 当店の実験では100円SHOPのも
 で良好に点火しました(エステス製
 スタータが点火)
 各接点は接触抵抗を少なくする工夫が
 必要です(太い線、短く、平口クリップ、
 電池コネクタを確実にするなど)
 9Vでも点火しない事もあります
 新品は9.5V以上あります

ご注意

送信機はカバーをしてボタンを押さない状態にしておく
複数の装置がある場合、混信しないかTESTする(イグナイタ非接続で)
 複数の装置がある場合、まず確実に1つの装置のみ機能させる
 スライドSWをTESTの位置にしておく、そして受信機の電源をOFFにする
 前の装置の動作確認完了後、次の装置の動作確認を行う
 スライドSWをTESTの位置にして、受信機の電源をOFFにする
事故を未然に防ぐように心掛けましょう。 この機器のご使用で、事故や損害が発生しても補償は致しません